

医療介護総合確保促進法に基づく福岡県計画（医療分）について

1 平成 26/27/28/29/30 年度福岡県計画に関する事後評価（案）について

(1) 事後評価の実施

国から発出された基金に係る留意事項（平成 31 年 4 月 26 日医政地発 0426 第 2 号）に基づき、目標の達成状況及び事業の実施状況に係る事後評価を実施し、令和元年度計画と合わせて国へ提出する。

今回は、平成 30 年度に実施した、平成 26 年度～平成 30 年度計画に係る事業について事後評価を実施する。

(2) 事後評価のプロセス

- ・ 県計画に記載された事後評価の方法に基づき実施すること。
- ・ 事後評価のプロセスの中で出された意見等については、事後評価に記載すること。

【平成 26/27/28/29/30 年度福岡県計画：事後評価の方法】

県医師会、県歯科医師会、県薬剤師会、県看護協会、県病院協会、私設病院協会、市町村等で構成する協議会に、目標の達成状況や事業の実施状況を報告し、当該協議会の意見を聞きながら評価を行い、必要に応じて見直しを行うことなどにより、計画を推進していくこととする。

→ 上記の関係団体で構成される医療審議会医療計画部会で事後評価の報告を行い、意見を聴取する。

(3) 平成 30 年度実施事業に関する事後評価

① 平成 30 年度基金執行実績

(単位：千円)

事業区分	計画額	執行実績額	H30計画	H29計画	H28計画	H27計画	H26計画
			区分Ⅰ	1,908,905	501,501	438,816	0
区分Ⅱ	243,034	224,330	122,414	91,814	8	10,045	49
区分Ⅲ	1,775,121	1,550,734	1,277,465	249,679	23,429	161	0
合計	3,927,060	2,276,565	1,838,695	341,493	23,437	46,971	25,969

② 平成 30 年度中の基金残高の推移

(単位：千円)

事業区分		基金額	H30計画	H29計画	H28計画	H27計画	H26計画
区分Ⅰ	期首残高	4,501,539	1,792,039	1,008,050	861,448	807,567	32,435
	執行実績額	501,501	438,816	0	0	36,765	25,920
	返納額	△34,584	0	△33,986	△167	△22	△409
	期末残高	4,034,622	1,353,223	1,042,036	861,615	770,824	6,924
区分Ⅱ	期首残高	277,705	156,456	107,329	7	13,453	460
	執行実績額	224,330	122,414	91,814	8	10,045	49
	返納額	△54	0	△25	△29	0	0
	期末残高	53,429	34,042	15,540	28	3,408	411
区分Ⅲ	期首残高	1,838,776	1,477,315	335,593	25,690	171	7
	執行実績額	1,550,734	1,277,465	249,679	23,429	161	0
	返納額	△57	0	△55	△2	0	0
	期末残高	288,099	199,850	85,969	2,263	10	7
合計	期首残高	6,618,020	3,425,810	1,450,972	887,145	821,191	32,902
	執行実績額	2,276,565	1,838,695	341,493	23,437	46,971	25,969
	返納額	△34,695	0	△34,066	△198	△22	△409
	期末残高	4,376,150	1,587,115	1,143,545	863,906	774,242	7,342

③ 目標の達成状況（主なもの）

〔Ⅰ〕 病床の機能分化・連携に関する事業

目 標	目標の達成状況
<p>【診療情報ネットワーク活用拡大事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 登録医療機関数：644→800 	<p>【診療情報ネットワーク活用拡大事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 登録医療機関数：729
<p>【がん患者等医科歯科連携整備事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 歯科専門職を配置するがん診療拠点病院数：17 か所→19 か所 	<p>【がん患者等医科歯科連携整備事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 歯科専門職を配置するがん診療拠点病院数：17 か所→18 か所
<p>【周術期口腔ケア連携支援事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● がん診療連携拠点病院以外で歯科を有する医療機関と地域歯科診療所との連携を図るためのコーディネートをを行う歯科専門職を 2 名配置する 	<p>【周術期口腔ケア連携支援事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ がん診療連携拠点病院以外で歯科を有する医療機関と地域歯科診療所との連携を図るためのコーディネートをを行う歯科専門職を 2 名配置
<p>【小児医療機能分化・連携推進事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 小児医療に関わる医師、看護職員等の研修会の開催および受講者数：800 人 	<p>【小児医療機能分化・連携推進事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 小児医療に関わる医師、看護職員等の研修会の開催および受講者数：1,449 人
<p>【がん診療施設設備整備事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 整備数：8 医療機関 	<p>【がん診療施設設備整備事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 整備数：8 医療機関

〔Ⅱ〕 在宅医療の充実に関する事業

目 標	目標の達成状況
<ul style="list-style-type: none"> ● 訪問診療を受ける患者数： ・ 28,001 人／月(H29) → 42,095 人／月(H35) 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 訪問診療を受ける患者数：28,001 人／月(H29) → 31,095 人／月 (H30 年度 在宅療養支援診療所等調査結果)
<p>【在宅医療連携拠点整備事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 在宅医療の連携拠点を整備する市町村数：9 	<p>【在宅医療連携拠点整備事業（市町村）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 在宅医療の連携拠点を整備する市町村数：9
<p>【訪問看護ステーションスキルアップ研修事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 研修会の開催：年 9 回（計 270 名） 	<p>【訪問看護ステーションスキルアップ研修事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 研修会の開催：年 29 回（計 1,191 名）
<p>【在宅ボランティア養成事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 住民啓発講座を年 4 地域以上で開催（計 400 名以上） ● 全県的な住民啓発イベントを年 1 回開催（200 名以上） 	<p>【在宅ボランティア養成事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 住民啓発講座を年 8 地域で開催（計 540 名） ○ 全県的な住民啓発イベントを年 1 回開催（400 名）
<p>【訪問看護ステーション連携・看取り促進事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 交流会開催地域数：19 	<p>【訪問看護ステーション連携・看取り促進事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 交流会開催地域数：19
<p>【在宅患者等救急時電話相談事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 相談受付件数：33,000 件（平成 30 年度中） 	<p>【在宅患者等救急時電話相談事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 相談受付件数：43,020 件（平成 30 年度）

目 標	目標の達成状況
<p>【健康長寿のための医療・介護の拠点づくり事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● データ分析項目数：140 項目 <p>【在宅医療推進のための情報集積システム開発事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● H30 年度末までに蓄積するビッグデータ（人口・医療・介護・健診）数：約 37 億 2 千万件 <p>【デイホスピス定着促進事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● デイホスピスの設置数：3ヶ所 <p>【訪問看護ステーション支援事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● コールセンターの相談件数：800 件／年 <p>【訪問歯科診療推進整備事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 相談対応可能な歯科専門職設置数：6 か所（H29）→9ヶ所（H30） <p>【薬局薬剤師の在宅医療参加促進事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 居宅療養管理指導料を算定する薬局数の増加（H29：1,069） 	<p>【健康長寿のための医療・介護の拠点づくり事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ データ分析項目数：721 項目 <p>【在宅医療推進のための情報集積システム開発事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ H30 年度末現在、約 28 億 7 千万件のデータを蓄積 <p>【デイホスピス定着促進事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ デイホスピスの設置数：3ヶ所 <p>【訪問看護ステーション支援事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ コールセンターの相談件数：1,292 件 <p>【訪問歯科診療推進整備事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 相談対応可能な歯科専門職設置数：9ヶ所 <p>【薬局薬剤師の在宅医療参加促進事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 居宅療養管理指導料を算定する薬局数：1,196 件（H30）

〔Ⅲ〕 医療従事者の確保に関する事業

目 標	目標の達成状況
<p>【母体救命講習会普及事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 母体救命公認講習指導者（インストラクター）数の増加（H28：5名→H30：30人） <p>【小児救急医療電話相談事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 相談件数：50,000 件 <p>【女性医師確保支援事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 女性医師の短時間勤務導入促進事業の利用者数：17 名 <p>【産科医等確保支援事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 手当支給施設の産科・産婦人科医師数：前年度実績（621 名（手当支給医師数））を上回る <p>【産科医療確保対策事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 女性医師の産科院内保育所利用者数の増加：18 名（H28） 	<p>【母体救命講習会普及事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 母体救命公認講習指導者（インストラクター）数の増加（H28：5名→H30：40人） <p>【小児救急医療電話相談事業（#8000）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 相談件数：56,080 件 <p>【女性医師確保支援事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 女性医師の短時間勤務導入促進事業の利用者数：5 名 <p>【産科医等確保支援事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 手当支給施設の産科・産婦人科医師数：658 名 <p>【産科医療確保対策事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 女性医師の産科院内保育所利用者数：5 名（H30）

目 標	目標の達成状況
<p>【寄付講座設置事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 寄付講座設置大学数：3 大学 <p>【緊急医師確保対策奨学金】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 奨学金貸与者数：5 名 <p>【看護師等養成所運営費補助事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 補助施設数：36 校 46 課程 <p>【新人看護職員研修事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 新人看護職員研修受講者数の増加：H29 年度実績（2,266 人）から 5%増加 <p>【新人看護職員多施設集合研修事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 新人看護職員多施設集合研修参加者数：2,200 人 <p>【新人看護職員研修アドバイザー派遣事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 新人看護職員研修アドバイザー派遣事業利用施設数：2 施設 <p>【看護職員フォローアップ研修事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 研修受講者数及び実施施設数の増加：2,643 名 74 施設（H29） <p>【新生児医療担当医確保支援事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 新生児担当手当を受給した小児科医数：40 名 <p>【歯科医・歯科衛生士研修事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 研修会参加者数 300 名 <p>【歯科衛生士復職支援事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 未就業歯科衛生士登録数：1,000 名 ● 登録者・求人者への就職情報提供件数：5,000 件 <p>【看護教員養成講習会事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 看護教員養成講習会受講者数：40 名 <p>【看護職員復職研修事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 受講後就業率の向上（H29：62.7%） <p>【ナースセンターサテライト事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● ナースセンターサテライト利用者：12,867 人 ● ナースセンターサテライト利用者の再就業者数の増加（H29：879 人） 	<p>【寄付講座設置事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 寄付講座設置大学数：3 大学 <p>【緊急医師確保対策奨学金】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 奨学金貸与者数：0 名 <p>【看護師等養成所運営費補助事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 補助施設数：36 校 45 課程 <p>【新人看護職員研修事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 新人看護職員研修受講者数：H29 年度比 3.8%増加（2,352 人） <p>【新人看護職員多施設集合研修事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 新人看護職員多施設集合研修参加者数：1,924 人 <p>【新人看護職員研修アドバイザー派遣事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 新人看護職員研修アドバイザー派遣事業利用施設数：2 施設 <p>【看護職員フォローアップ研修事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 研修受講者数及び実施施設数：2,731 名 77 施設（H30） <p>【新生児医療担当医確保支援事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 新生児担当手当を受給した小児科医数：49 名 <p>【歯科医・歯科衛生士研修事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 研修会参加者数 379 名 <p>【歯科衛生士復職支援事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 未就業歯科衛生士登録数：1,080 名 ○ 登録者・求人者への就職情報提供件数：7,948 件 <p>【看護教員養成講習会事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 看護教員養成講習会受講者数：13 名 <p>【看護職員復職研修事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 受講後就業率：50.2%（H30） <p>【ナースセンターサテライト事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ ナースセンターサテライト利用者：13,434 人 ○ ナースセンターサテライト利用者の再就業者数：889 人

目 標	目標の達成状況
【ふれあい看護体験事業】 ● マッチング率（体験者数／申込者数）の増加 （H28：81.35%以上）	【ふれあい看護体験事業】 ○ マッチング率：62.4%（H30）
【外国人看護師候補者資格取得支援事業】 ● 20 人を支援し、看護師国家試験の合格を目指す	【外国人看護師候補者資格取得支援事業】 ○ 支援した外国人看護師候補者数：13 人、 2 名合格

2 医療介護総合確保促進法に基づく令和元年度福岡県計画（案）について

（1）令和元年度基金事業概要

① 基金計画額

（単位：千円）

事業区分	事業数	計画額					
			R01 計画	H30 計画	H29 計画	H28 計画	H27 計画
区分Ⅰ	7	1,760,170	※調整中				
区分Ⅱ	16	241,641					
区分Ⅲ	40	1,954,328					
合 計	63	3,956,139					

※ 令和元年度基金配分の考え方

- ・ 区分Ⅰ「病床の機能分化・連携」については、各県の要望額を精査の上、所要額を優先的に配分。
- ・ 区分Ⅱ「在宅医療の充実」、区分Ⅲ「医療従事者の確保」については、各県の所要額から各県の過年度基金の事業区分ごとの執行残額を差し引いた額を基本とし、更に各県の所要額を精査・調整（一部減額）のうえ配分。
- ・ 今後、厚生労働省からの内示後、本年度充当基金額のみでは財源が不足する場合は、過年度基金の執行残高を充当することで財源を確保することとしている。

② 事業内訳（新規・継続事業別）

（単位：千円）

事業区分	新規・拡充事業（A）		継続事業（B）		（A+B）	
	事業数	計画額	事業数	計画額	事業数	計画額
区分Ⅰ	2	81,047	5	1,679,123	7	1,760,170
区分Ⅱ	1	753	15	240,888	16	241,641
区分Ⅲ	2	11,273	38	1,943,055	40	1,954,328
合 計	5	93,073	58	3,863,066	63	3,956,139

③ 令和元年度新規・拡充事業

（単位：千円）

事業区分	事業名・概要		計画額
区分Ⅰ	【拡充】	5.病床機能分化・連携促進事業	12,259
		〔概要〕地域医療構想の達成に向け、地域医療構想アドバイザーと連携し、地域医療構想調整会議議長や関係者を対象とし、地域医療の現状と課題等について正しく理解してもらうための研修会を開催し、各構想区域の実情に応じた調整会議における具体的議論の進め方の提示等を行う。	

		〔目標〕地域医療構想調整会議の関係者における地域医療構想の理解を深めることにより議論の活性化を促し、地域医療構想の推進を図る。	
区分Ⅰ	【新規】	<p>7.病床規模適正化支援事業</p> <p>〔概要〕地域医療構想の達成のため、過剰となっている病床の用途変更など、事業の縮小に必要な費用を支援することにより、病床規模の適正化を図る。</p> <p>〔目標〕病床規模の適正化を図ることにより、将来の医療需要に対応した医療資源の効果的かつ効率的な配置を促す（病床削減数：65床（R01））。</p>	68,788
区分Ⅱ	【新規】	<p>23.病院関係職員在宅医療推進研修事業</p> <p>〔概要〕地域包括ケアシステムや在宅医療の重要性等について病院幹部等が理解するとともに、在宅患者の円滑な入退院を可能とするための院内の多職種連携や地域における病院・診療所間の連携等の具体的な手法等について学ぶ研修会を実施する。</p> <p>〔目標〕在宅医療における病院の役割等についての理解を促進し、入院早期から退院後の生活を見据えた退院支援体制の整備を図り、在宅医療との連携を強化し、訪問診療を受ける患者数の増加を図る（研修会の実施回数：2回（R01））。</p>	753
区分Ⅲ	【新規】	<p>32.未来の女性医師発掘事業</p> <p>〔概要〕女子高生の医学部への進学意欲を高め、将来の女性医師を増やすため、高校に講師（女性医師）を派遣し、高校1年生を対象に、女性医師の仕事に関わる講話を実施する。</p> <p>〔目標〕女子高校生が、女性医師の仕事に魅力ややりがいを感じ医学部を目指すことで、将来の女性医師の確保を図る（派遣する高校：10校、参加する高校生：1,000人（R01））。</p>	773
区分Ⅲ	【新規】	<p>62.看護師の特定行為研修推進事業</p> <p>〔概要〕特定行為研修を修了した看護師を養成・確保するため、医療機関等に対し研修の受講費用を補助する</p> <p>〔目標〕看護師に特定行為研修を受講させる医療機関等を支援することで、県内の研修修了者の増加を促し、医療・看護を担う人材確保と資質の向上を図る（研修受講補助者数：30人（R01））。</p>	10,500
新規・拡充 計			93,073